

月刊 社会保険

6

2021 VOL.851

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

令和3年度における年金委員の活動内容等について

日本年金機構からのお知らせ

2021(令和3)年4月から外国人脱退一時金の支給対象期間の上限が5年に見直されました

ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント

「ひとり親自立促進パッケージ」を策定しました～ひとり親の自立に向けた安定就労や住まいの確保を支援します～(概要)

令和3年度における年金委員の活動内容等について	4
日本年金機構からのお知らせ	
2021(令和3)年4月から外国人脱退一時金の支給対象期間の上限が5年に見直されました	12
ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント	14
「ひとり親自立促進パッケージ」を策定しました ～ひとり親の自立に向けた安定就労や住まいの確保を支援します～ (概要)	16
労働基準法の解説および実務のポイント 第2回 使用者・労働者・賃金の定義 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 私と社会保険委員会 トチセン化成工業株式会社代表取締役社長 小泉 栄志	20
新たな時代の働き方改革—ピンチをチャンスに変える職場づくり 第2回 現場の“腹落ち感”が肝 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司	22
書評 浜田 陽太郎 著 「高齢ニッポン」をどう捉えるか—予防医療・介護・福祉・年金	24
Well-Being イキキル社会をめざす 第2回 Well-Beingを考える —生きがいとイキガイ— 東京工科大学名誉教授・日本創造学会評議員 奥 正廣	25
認知症を予防する④ 第2回 腸内細菌叢・ジャンクフード・果糖 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことは——竹内敏信 「光の響」「木漏れ日」

オーストリア/ウィーンの森



ウィーンの森は映画や演劇で紹介されているため、耳にしたことがあるのではないだろうか。それだけ日くある場所でもある。

しかし、私にとっては自身が見て、肌で感じたことを写真で伝える。それをモットーに生きている。先入観を持たないためにも、情報はあえて入れずに取材に行くことにしている。そのときの出会いを感謝することが最も大切なのだ。

この日も撮影中、急に風が吹き、ふっと辺りを見わたすと美しい光が差し込んできた。これも素敵な出会いなのだ。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

私と社会保険委員会



トチセン化成工業株式会社代表取締役社長
小泉 栄志

●地域の紹介

弊社が本社を置く足利市は、北関東にある栃木県の南西部に位置し、群馬県と県境を接しています。市の北部には足尾山地に連なる山々、南部は関東平野が広がり、中央部には歌手の森高千里さんの「渡良瀬橋」に歌われ一躍有名となった夕陽のきれいな渡良瀬川が流れる、山地と平野の接点に位置しています。

歴史的には、足利源氏発祥の地でもあり、教科書でお馴染みの日本最古の学校といわれる「足利学校」をはじめ、由緒ある神社仏閣、名所旧跡も数多く「東の京都」と呼ばれる風光明媚な街です。

最近では「日本夜景遺産」や「日本3大イルミネーション」に選ばれたあしががフラワーパークが、JRの新駅設置効果もあり観光客で賑わっています。

また、古くから織物の産地として知られ、近年はプラスチックや金属加工産業も首都圏と北関東自動車道路でつながった産地として大いに進展しています。

●会社の紹介

弊社は昭和38（1963）年、旭ダウ株式会社での高圧ポリエチレン樹脂の製造開始に伴い、同社の勧奨により創業しました。

創業以来一貫して、産業資材向けのポリエチレンを主とするプラスチックフィルム製品の製造販売をしてきました。最近では、真円ドラム缶内袋やコンテナ内袋、自動車グリス用チューブ、接着剤用チューブ製品のタックチューブ容器などを市場のニーズにあわせて製品づくりをしています。

地球環境問題への取組みとして、世界は脱プラスチック、脱炭素の流れで、プラスチック業界を取り巻く環境は厳しくなっています。しかしながら、例えば弊社の真円ドラム缶内袋は、ドラム缶など外容器を再利用する際、洗浄時の廃液処理を極限まで減らすことができ、経費を節減し環境に配慮した製品です。

東日本では弊社が唯一、社内一貫生産し販売している企業です。

●社会保険との出会いと委員活動

前任の社会保険委員の退職後、4年ほど委員が不在でした。社内には、

公的機関にはきちんと届出してさえいればいいという風潮がありました。そのような状況下、当時総務課長だった私は、中小企業の仲間にも社会保険委員制度の重要性を説かれたのを契機に、平成4（1992）年に初めて社会保険委員を委嘱されました。

現在、栃木県には宇都宮西・宇都宮東・栃木・大田原・今市市の5つの社会保険委員会があります。私の所属する栃木社会保険委員会には、栃南・佐野・足利の3つの支部があり、343事業所が活動しています。

私は平成22（2010）年から足利支部の支部長職と栃木社会保険委員会の副会長職を務めさせていただいております。

社会保険庁時代の委員会活動は、各支部単位で、研修旅行、野球大会、ボウリング大会など各種イベントを開催し、また算定基礎届説明会や商工会議所で行われる年金相談会の手伝いも行いました。毎月のように行事があり、会員相互の交流や社会保険事務所とのつながりも活発でした。

組織改編とともに委員制度も新しくなりましたが、各企業も時代とともに従業員の働き方への対応が変わり、以前のような委員活動が難しくなってきました。

現在は栃木県全体で行われる年金委員研修会への参加、各支部での研修会開催や参考図書が主な活動となっています。

直近の研修会では、帝国データバンクの元支店長による「栃木県の経済状況」等の講演、年金事務所職員による「年金額を増やすには」の講演が好評でした。

年金委員としての役割も、以前は従業員のために年金請求書や年金記録を確認するための用紙を用意し、届書提出のために年金事務所へ訪問するなどが多かったです。今年年金請求書は本人へ送付され、届書の提出は電子申請となり、必要な情報は日本年金機構のホームページから得られるようになり、窓口へ訪問する機会も極端に減りました。

しかし、頻繁に行われる法改正に適切に対応し、従業員に伝えていくためには、ホームページからでは得られない生きた情報を研修会で発信していく必要があります。

令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各種行事が残念ながら見送られ、委員活動にも制限がありました。今年度は3密を避けながら研修会を実施し、社会保険の知識の習得や会員相互の親

睦、横のつながりを深め、活動の充実を図っていくことが重要と考えています。

●従業員の健康管理

1日のはじまりはラジオ体操ならぬ「トチセン体操」を実践しています。からだをほぐし、脳を活性化させる働きがあり、集中力を高めてくれます。習慣化することで、従業員の健康増進に役立っています。

弊社では、深夜業を伴う交代勤務があり、年に1度の健康診断・ストレスチェックのほか特殊健康診断も実施しています。希望者へは人間ドック受診も実施していて、健診の受診率100%を徹底しています。

新型コロナウイルス感染防止対策は、従業員の健康面だけでなく、会社の危機管理としても注意を払っています。マスクの着用、毎朝の検温、手指の消毒、換気はもちろんのこと、個人ごとに机上に飛沫防止用パーテーションを設置し対策を徹底しています。

●結びにかえて

2月21日に足利市の両崖山の一帯



トチセン化成工業株式会社

おりますこと足利市民として心より感謝申し上げます。

（栃木社会保険委員会副会長 栃木県社会保険委員会連合会理事）